

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	72 名

窓口	研究支援部 研究協力グループ
担当者	中村 綾子
TEL	052-809-1723
Email	research@toyota-ti.ac.jp
産連HP	https://www.toyota-ti.ac.jp/research/sangaku/sangaku.html
シースDB	http://tiweb.toyota-ti.ac.jp/

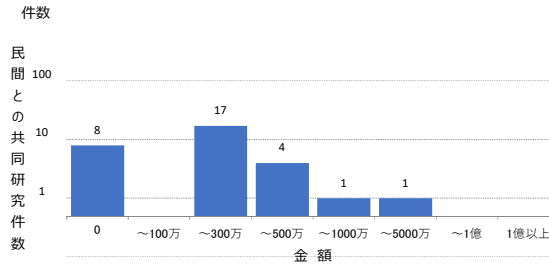
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
115,370	千円	50	233,691
			246,488

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有
15%以上20%未満	有 無	有 無

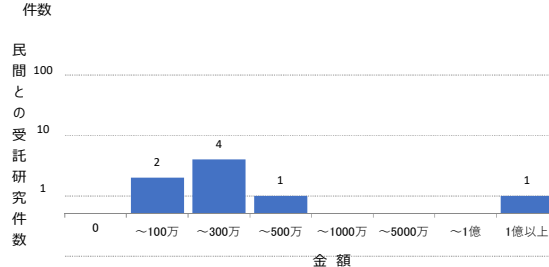
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	108,193	34	68,939	32	位
民間企業のみ	104,251	32	65,691	31	位
大企業	104,151	31	65,691	31	位
中小企業	100	1	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	455,405	22	379,654	21	位
民間企業のみ	185,820	9	149,211	8	23 位
大企業	10,860	7	6,481	4	位
中小企業	174,960	2	142,730	4	5 位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務担当者数	実務者当たり研究者数
実務担当者数	1 名	72
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

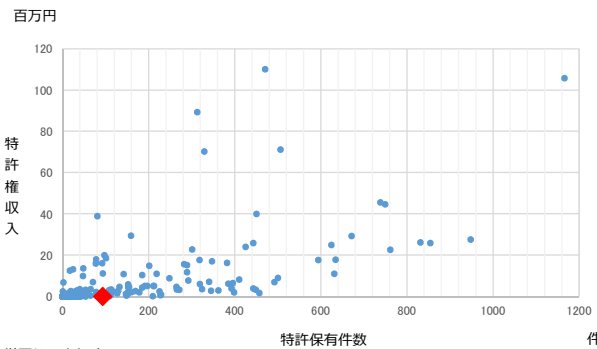
	研究者あたり	
特許出願件数	26	0.361
特許保有件数	93	1.292

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	12
2	G06	計算、計数	9
3	H01	基本的電気素子	7
4	C23	金属質材料への被覆; 金属質材料による材料への被覆等	4
5	B25	手工具、可搬型動力工具、マシナリー等	2
6	B60	車両一般	2
7	B62	鉄道以外の路面車両	2
8	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
9	B22	铸造、粉末冶金	1
10	B32	積層体	1

※学校法人トヨタ学園としてカウント



基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	2,582 名

窓口	産学連携本部
担当者	土屋 康志
TEL	03-5763-6694
Email	sangaku@jim.toho-u.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

外部資金

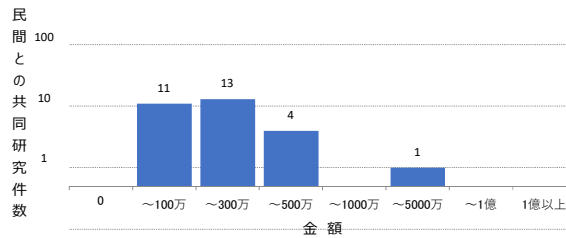
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
322,400	千円	197	204,150
			1,007,891

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	有
			無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	46,066	30	67,885	31	位
民間企業のみ	41,565	26	51,926	29	位
大企業	37,091	20	48,296	25	位
中小企業	4,474	6	3,630	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

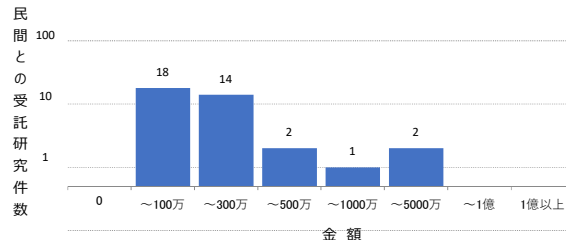
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	235,689	55	200,241	59	位
民間企業のみ	86,109	35	77,448	37	49位
大企業	67,283	26	61,975	27	44位
中小企業	18,826	9	15,473	10	49位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	5	名	516		
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

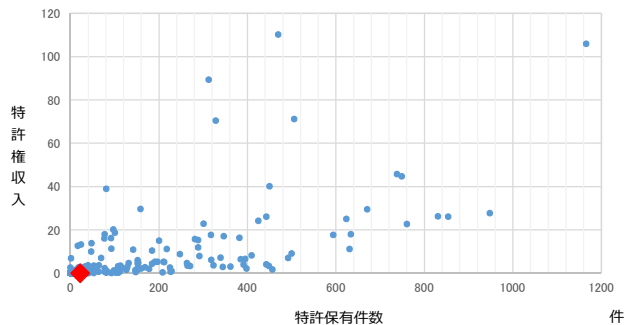
	研究者あたり	
特許出願件数	12	0.005
特許保有件数	22	0.009

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C08	有機高分子化合物等	6
2	C07	有機化学	5
3	A61	医学・獣医学；衛生学	3
4	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
5	G01	測定、試験	2
6	F15	流体圧アクチュエータ、水力学・空気力学一般	1
7	G05	制御、調整	1
8	G06	計算、計数	1
9	G08	信号	1
10	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	1

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	30	30.0

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設			
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	1,500 名

窓口	総合企画部産学官連携推進室
担当者	豊坂 純一
TEL	0942-31-7917
Email	sangakuml@kurume-u.ac.jp
産連HP	https://www.kurume-u.ac.jp/site/joint/
シーズDB	https://www.kurume-u.ac.jp/site/joint/seeds.html

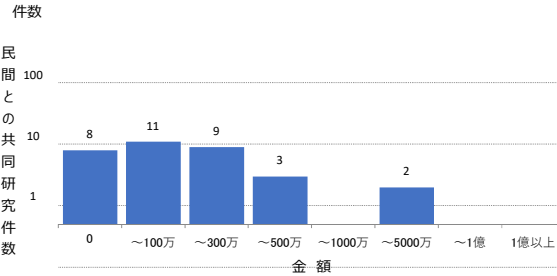
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
252,396 千円	204	183,313	1,480,125

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
実績有割合無		有	無	有	無

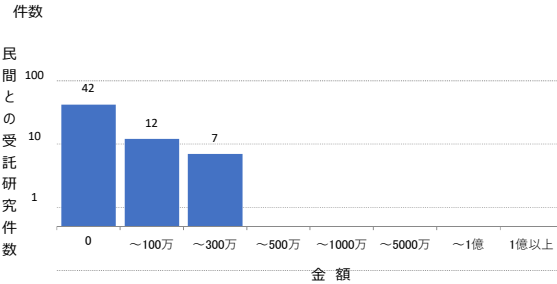
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	64,908	89	67,475	48	位
民間企業のみ	60,124	57	58,856	33	位
大企業	58,134	37	49,796	25	位
中小企業	1,990	20	9,060	8	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	343,616	197	177,258	210	位
民間企業のみ	36,254	65	15,798	61	位
大企業	23,599	34	7,762	32	位
中小企業	12,655	31	8,036	29	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数	
実務担当者数	3 名	500	
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 其他		

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

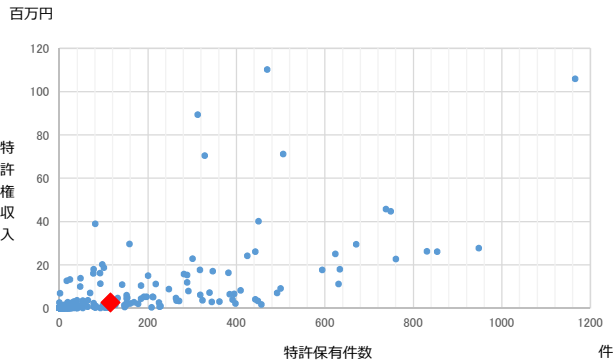
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	14	0.009
特許保有件数	115	0.077

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	25
2	C07	有機化学	3
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	3
4	G01	測定、試験	3
5	G02	光学	1

特許権実施等件数	124	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	2,670	21.5



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	3名	500

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	2社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		部屋数	4件
		支援総額（千円）	1件
有	無	利用件数	

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
次世代医療産業化フォーラム（大阪商工会議所）	5月
久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会	10月
ファーマラボEXPO 2020 アカデミックフォーラム	11月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	1,025 名

窓口	産学連携室
担当者	重松 万里
TEL	03-6388-5096
Email	iuhw-renkei@iuhw.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

外部資金

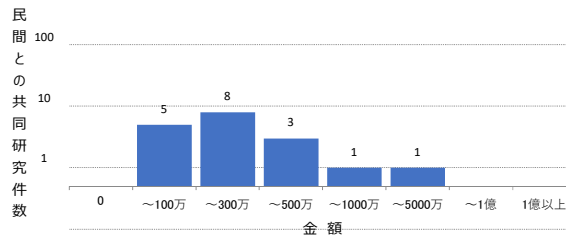
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
332,475	千円	173,577	274,183

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
25%以上30%未満	有 無	有	無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	171,893	20	65,322	20	位
民間企業のみ	171,893	20	46,842	18	位
大企業	135,745	13	28,817	14	位
中小企業	36,148	7	18,025	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

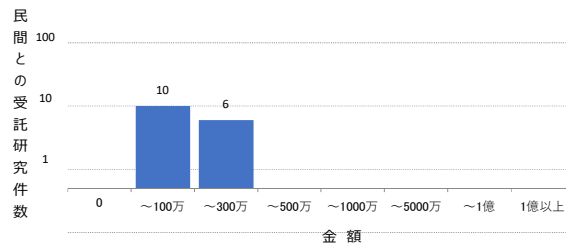
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	61,065	17	32,627	25	位
民間企業のみ	9,984	12	14,045	16	位
大企業	5,999	7	11,626	12	位
中小企業	3,985	5	2,351	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	1 名	1025				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	1 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

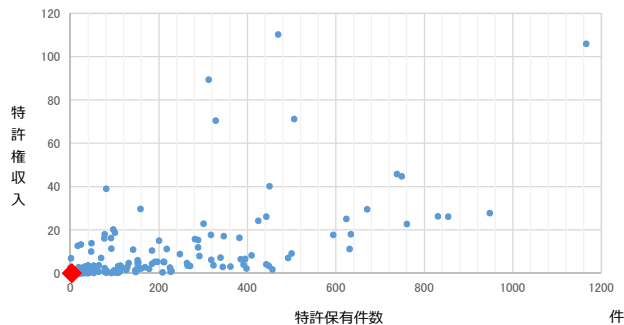
	研究者あたり	
特許出願件数	5	0.005
特許保有件数	3	0.003

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	1

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

私
立

東京農業大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	445 名

窓口	農生命科学研究所事務部
担当者	岩井 慎一
TEL	03-5477-2532
Email	nri@nodai.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
254,916	千円	191	433,141

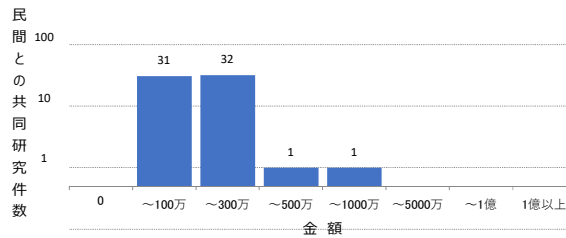
間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%未満	有 無	有	無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	108,967	60	65,027	72	位
民間企業のみ	88,276	49	58,343	65	位
大企業	74,874	33	40,422	45	位
中小企業	13,402	16	17,921	20	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数

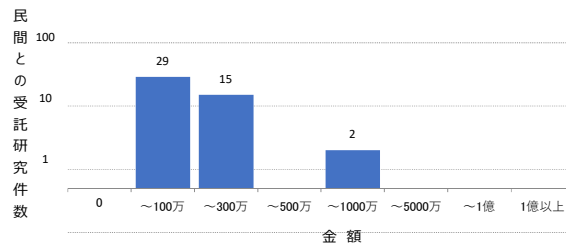


■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	269,684	108	411,458	115	位
民間企業のみ	48,367	43	48,371	46	位
大企業	36,782	30	43,037	35	位
中小企業	11,585	13	5,334	11	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2	名	223		
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

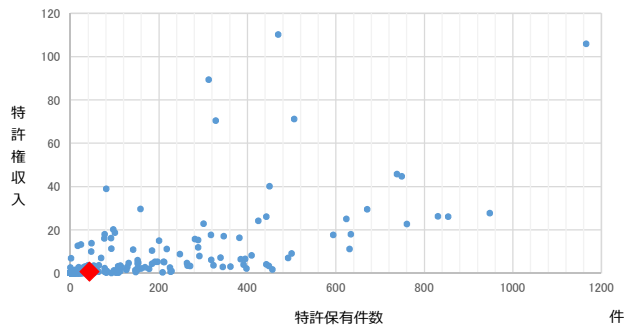
		研究者あたり
特許出願件数	5	0.011
特許保有件数	43	0.097

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	7
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	7
3	A61	医学・獣医学；衛生学	4
4	A23	食品・食料品等	3
5	C07	有機化学	3
6	F25	冷凍・冷却、加熱と冷凍との組み合わせシステム、ヒートポンプシステム、氷の製造・貯蔵、気体の液化・固体化	1

特許権実施等件数	4	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	737	184.3

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	3	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	3 件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	3 件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	1,130 名

窓口	事務局 研究推進部 研究推進課
担当者	村上 真奈美
TEL	03-5814-6278
Email	manami-murakami@nms.ac.jp
産連HP	https://www.nms.ac.jp/tlo/
シーズDB	

外部資金

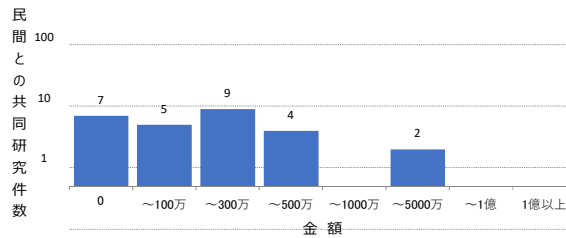
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
278,489	千円	197	715,396

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	40,580	26	64,936	36	位
民間企業のみ	32,860	20	60,116	27	位
大企業	28,770	13	47,450	16	位
中小企業	4,090	7	8,310	10	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

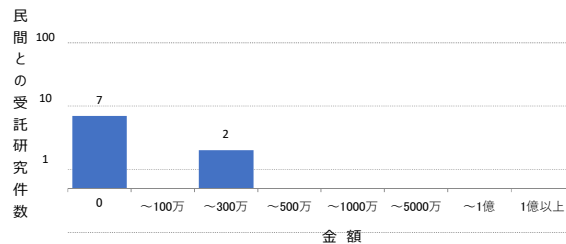
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	349,130	61	534,189	50	位
民間企業のみ	16,553	16	2,980	9	位
大企業	15,553	11	0	6	位
中小企業	1,000	5	2,980	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数			
実務担当者数	12 名	94			
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 其他				

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

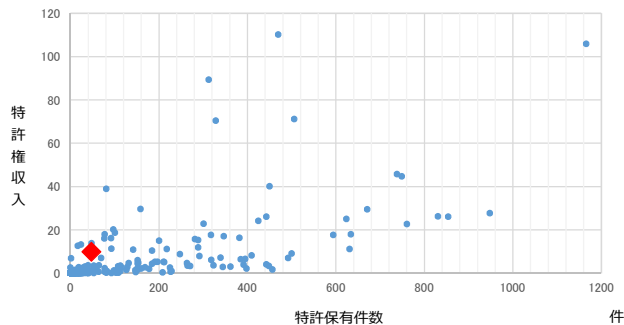
		研究者あたり
特許出願件数	11	0.010
特許保有件数	47	0.042

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	10
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	7
3	G01	測定、試験	3
4	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	3
5	C07	有機化学	1

特許権実施等件数	33	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	9,933	301.0

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	2 名	565

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0 社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		部屋数	件
		支援総額（千円）	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	2,183 名

窓口	産学連携推進センター
担当者	相澤 崇子
TEL	03-3964-1984
Email	tttc@med.teikyo-u.ac.jp
産連HP	http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/tttc
シーズDB	https://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/research/seeds

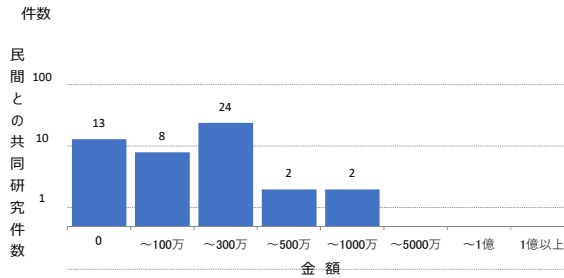
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
415,515	千円	267	808,783

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%未満		有	無	有	無

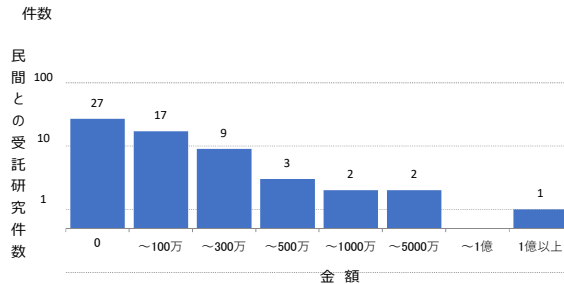
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	70,107	55	63,917	55	位
民間企業のみ	56,130	47	59,128	49	位
大企業	48,094	37	43,876	38	位
中小企業	8,036	10	15,252	11	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	210,479	158	412,969	169	位
民間企業のみ	44,836	58	248,290	61	12位
大企業	23,891	35	234,071	41	9位
中小企業	20,945	23	14,219	20	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数			
実務担当者数	4 名	546			
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 其他				

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

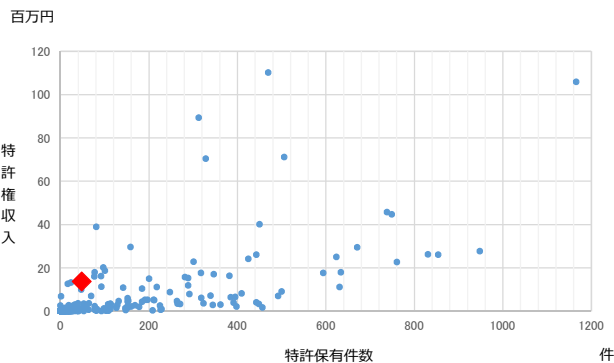
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	18	0.008
特許保有件数	48	0.022

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	23
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	5
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	2
4	G06	計算、計数	2
5	A23	食品・食品料等	1
6	B28	セメント・粘土・石材の加工	1
7	B64	航空機、飛行、宇宙工学	1
8	F21	照明	1
9	G02	光学	1
10	H02	電力の発電、変換、配電	1

特許権実施等件数	12	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	13,743	1,145.3



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無	0			

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
いたばし産業見本市	11月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

人間工学・運動生理学・流体力学・バイオミメティクスによる産学連携による国産初の競技用カヌーの開発や、情報連携学術実業連携機構 (INIAD CHUB) によるAI・IoT等の情報通信技術を国民生活分野に資する独自研究

産学官連携活動において今後重点化したい事項

大学発ベンチャー起業支援、ファンドの設立、研究専念制度の実施、論文発表数・外部研究費獲得額等の研究成果に基づく研究予算の重点配分の実施、URA による研究計画調書のライティング支援、クロスポイント制度の整備

運営費交付金	百万円
研究者数	1,067 名

窓口	研究推進部産学官連携推進課
担当者	松浦 徹治
TEL	03-3945-7564
Email	ml-chizai@toyo.jp
産連HP	https://www.toyo.ac.jp/research/industry-government/ciit/
シーズDB	https://www.toyo.ac.jp/research/industry-government/ciit/seeds/

外部資金

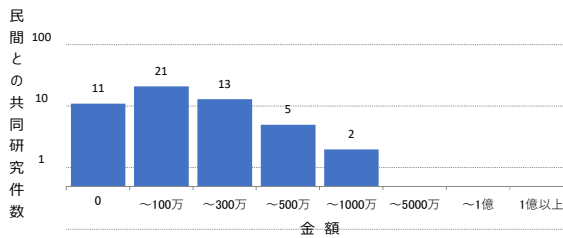
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
319,433 千円	226	52,304	157,980

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	有	無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	44,270	45	61,078	55	位
民間企業のみ	39,935	41	57,777	52	位
大企業	35,711	28	52,497	39	位
中小企業	4,224	13	5,280	13	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

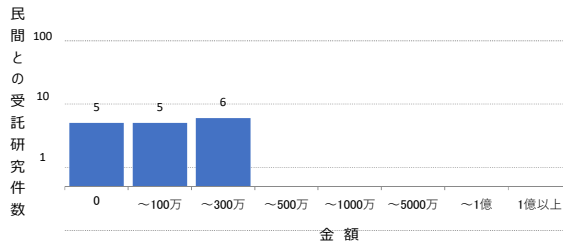
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	123,546	52	97,003	43	位
民間企業のみ	21,213	24	10,146	16	位
大企業	14,447	17	7,940	10	位
中小企業	6,766	7	2,206	6	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	10 名	107			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

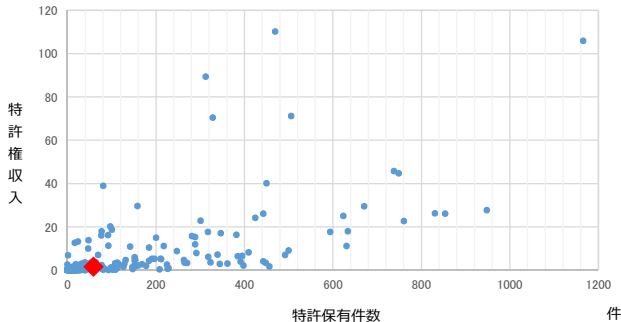
	研究者あたり	
特許出願件数	19	0.018
特許保有件数	59	0.055

特許権実施等件数	5	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	1,668	333.6

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	11
2	A61	医学・獣医学；衛生学	8
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	3
4	H02	電力の発電、変換、配電	3
5	C02	水、廃水、下水・汚泥の処理	2
6	H01	基本的電気素子	2
7	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
8	A23	食品・食料品等	1
9	B32	積層体	1
10	B60	車両一般	1

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	4名	267

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	利用件数	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
イノベーション・ジャパン	8月
新技術説明会	9月
BioJapan	10月

■産学連携活動の主な実用化事例

共同研究による成果「骨盤バランス オックス」の商品化

<p>本件連絡先</p>					
機関名	東洋大学	部署名	産学連携推進センター	TEL	03-3945-7564
				E-mail	ml-chizai@tovo.jp
概要			図・写真・データ		
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>デスクワーク等長時間座りっぱなしで仕事等をする事による腰痛で悩まれている方に、自然と正しい姿勢をサポートする座椅子を提供することにより、腰痛を未然に防ぐことができる。</p> <p>・成果</p> <p>共同研究の成果として、共同研究相手である株式会社ドリームが展開するブランド「ラボネツ」から、「骨盤バランスオックス」として商品化された。Amazon等ECサイトでも販売展開され、好評をいただいている。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>商品化としての展開に先んじて、企業側主導でクラウドファンディングサイトMakuakeを通じてファンディングを行った。目標金額300,000円のところ、目標を大きく上回る3,767,790円の出資があったほか、日経新聞「キャンパス発の一品」で取り上げられるなど各種メディアでも注目を集めた。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>株式会社ドリームから、シーティングの研究者である本学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科の繁成剛教授への共同研究の打診があり実施。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>試作品の検証、着座時の耐圧分散の測定等、製品仕様に関する学術的な知見によるアドバイス。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>人間工学に基づくダイナミック・シーティング理論の応用により、骨盤を立てた着座が自然とできること。また、前後に10度の傾斜を設けることにより、単に骨盤の位置を固定するのではなく、正しい姿勢を保ったまま前後に自然と動くことを促す。</p>			<p>「骨盤起こし」で腰楽サポート！</p> <p>座るだけで「自然と動く」骨盤アクション</p> <p>「だから崩れない！」</p> <p>「だから負担が軽い！」</p> <p>Labonetz オックス(KKKOSU) 10,000円</p>		
<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>クラウドファンディングサイトMakuake「東洋大学との共同研究で誕生！「オックス」で究極の「座り」をあなたに。」</p> <p>https://www.makuake.com/project/labonetz01/</p>					

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	429 名

窓口	学術研究所知的財産本部
担当者	小林真澄
TEL	042-739-8038
Email	chizai@tamagawa.ac.jp
産連HP	https://www.tamagawa.jp/research/academic/i_property/about/ 他
シーズDB	

外部資金

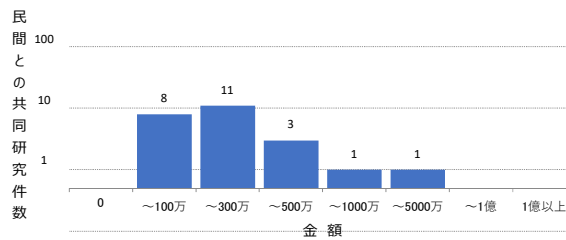
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
千円			54,194

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
実績有割合無		有	無	有	無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	69,833	31	57,064	29	位
民間企業のみ	57,833	26	45,564	24	位
大企業	44,979	21	36,784	18	位
中小企業	12,854	5	8,780	6	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

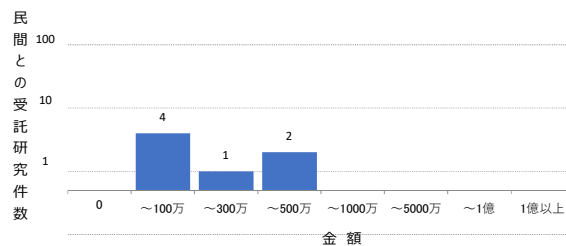
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	218,049	20	119,431	21	位
民間企業のみ	5,780	6	8,630	7	位
大企業	4,600	3	7,450	4	位
中小企業	1,180	3	1,180	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2 名	215				
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

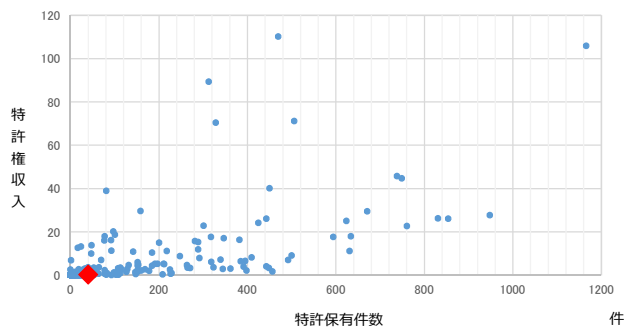
		研究者あたり
特許出願件数	4	0.009
特許保有件数	40	0.093

特許権実施等件数	28	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	241	8.6

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	3
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	2
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
4	B60	車両一般	1
5	C01	無機化学	1
6	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	1
7	G06	計算、計数	1

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
アグリビジネスフォーラム	令和2年10月13日

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	660 名

窓口	学務部 研究助成課
担当者	及川 裕文
TEL	019-651-5110 (内線5530)
Email	liaison@j.iwate-med.ac.jp
産連HP	http://www.iwate-med.ac.jp/research/sangakukan/
シーズDB	http://www.iwate-med.ac.jp/research/iisseki/

外部資金

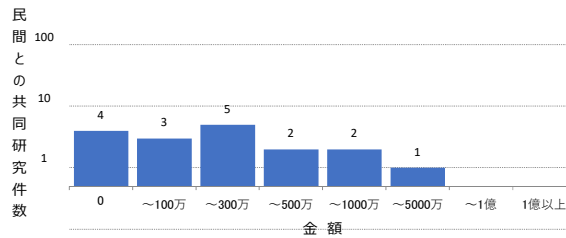
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
241,061	千円	215	

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
30%以上		有	無	有	無

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	20,859	21	56,760	22	位
民間企業のみ	16,484	14	52,060	17	位
大企業	14,510	12	50,210	16	位
中小企業	1,974	2	1,850	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

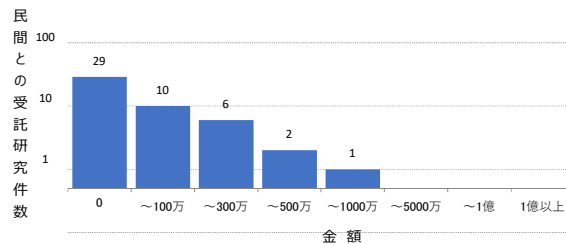
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	166,179	113	115,305	131	位
民間企業のみ	22,968	33	24,680	48	位
大企業	21,638	31	22,776	43	位
中小企業	1,330	2	1,904	5	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	0 名					
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

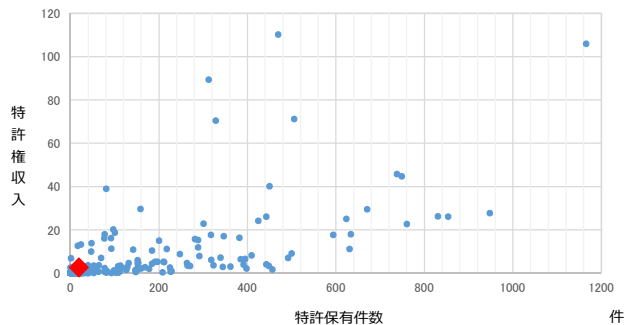
		研究者あたり
特許出願件数	4	0.006
特許保有件数	19	0.029

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	11
2	G01	測定、試験	4
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
4	C07	有機化学	1
5	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	1
6	G06	計算、計数	1
7	G16		1

特許権実施等件数	5	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	2,645	529.0

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	2名	170

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1社	インキュベーション施設	
相談窓口	有	無	有
有	無	有	無
支援ファンド	有	無	有
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	有	無	有
有	無	有	無
支援総額（千円）		部屋数	件
		利用件数	件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
イノベーションジャパン	8月
JST新技術説明会	9月

■組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学連携活動の取組事例

次世代AI・ロボット研究

概要

研究推進部が事務局を務める先端共同研究機構では、学内の研究シーズを活用した学内外における共同研究を推進しており、「次世代AI・ロボット研究」を先端共同研究機構指定プロジェクトとして位置付けている。

この研究の最終目標は、人間のように柔軟かつ自然に動作する次世代の人工知能搭載ロボットの実現である。これまでの研究により、対象物の種類や置かれている位置と姿勢を認識するモジュール、日用品などの道具がもつ「機能」を認識するモジュール、それらの情報をもとに適切な動作を自動生成するモジュール等を開発した。「道具の使い方を自ら理解し、動作をすることができる」点が、本研究の最も独創的な点である。なお、研究成果は論文として国内外で発表し、第23回画像センシングシンポジウム優秀学術賞、IWAIT 2020国際会議 Best Paper Award を受賞するなど、注目を集めた。また、研究成果はシステムとして統合され、2018年10月には世界初のお茶会ロボットのプロトタイプ初号機を発表して数々の新聞・テレビ取材を受け、さらに令和元年度(2019年度)末(1月)にはその改良版ロボット(第2号)を発表し、本研究の有用性を実証した。

現在はこれまでの研究成果をもとに、このAIロボットが「人間と共に進化する」新しいステージを目指し、工場現場で人間と協働し、あるいは人間に代わって高度な生産システムを担うことができる次世代ロボットの開発に着手している。

本研究を通じ、当該分野におけるイノベーション創出に寄与したうえで、社会貢献の一助となることを目的としている。

関連URL：
 (NEDO施設動画) <https://www.youtube.com/watch?v=hX6JbjVJU0Q>
 (中京大学・橋本研究室) <http://asmi.sist.chukyo-u.ac.jp/>

体制図等

■産学連携活動の主な実用化事例

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	807 名

窓口	大学事務部 研究支援課
担当者	三谷 紀世美
TEL	093-280-0532
Email	chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp
産連HP	https://www.uoeh-u.ac.jp/industryCo/sangaku.html
シーズDB	https://www.uoeh-u.ac.jp/industryCo/sangaku/labolink.html

外部資金

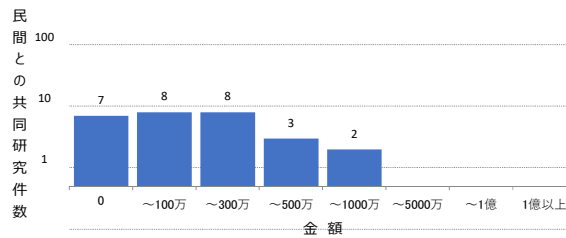
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
202,313	千円	148	198,451

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	有

■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	58,472	29	49,381	37	位
民間企業のみ	45,213	17	36,484	28	位
大企業	42,755	11	29,100	17	位
中小企業	2,458	6	7,384	11	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

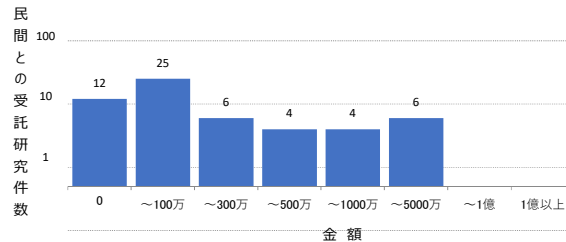
件数



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	201,209	132	215,735	109	位
民間企業のみ	123,606	69	155,840	57	22 位
大企業	89,283	45	114,787	37	21 位
中小企業	34,323	24	41,053	20	23 位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	5 名	161			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

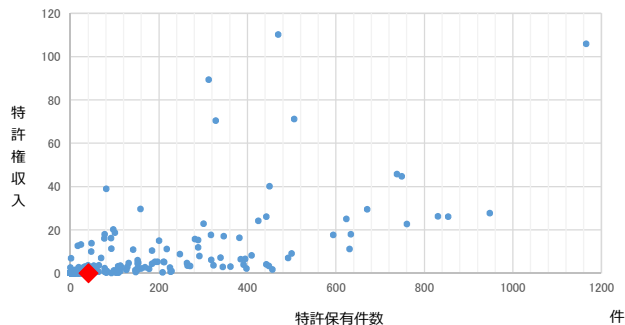
	研究者あたり	
特許出願件数	11	0.014
特許保有件数	41	0.051

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	15
2	G01	測定、試験	5
3	G06	計算、計数	4
4	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1
5	A41	衣類	1

特許権実施等件数	7	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	11	1.6

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	2	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数
件	件	件	件	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）		利用件数	件
有	無			

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

深部体温推定アルゴリズムによる暑熱リスク対策

本件連絡先

機関名	産業医科大学	部署名	産学連携・知的財産本部	TEL	093-280-0532	E-mail	chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp
-----	--------	-----	-------------	-----	--------------	--------	-----------------------------

概要	図・写真・データ
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>消防庁は、今年8月10～16日の1週間に全国で熱中症で救急搬送された人は、1万人強だったと発表した（死者30人）。厚生労働省の2019年速報値では、熱中症による休業4日以上の死傷者数は790人（死者26人）であり、年々増加する熱中症への対応が求められている。</p> <p>・成果</p> <p>産業医科大学、ミツフジ㈱、前田建設工業㈱は共同研究により心拍情報から深部体温上昇変化を推定できるアルゴリズムを開発し、暑熱リスクを可視化するデバイスを開発した。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>ウェアラブルデバイス開発技術、暑熱環境の調査フィールド、実験のための人工気候室の保有など、それぞれの特徴を活かした連携が実用化につながった。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>産業界を育成する国内唯一の医科大学である本学には、熱中症を専門とする研究者が多いため。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>熱中症に関する専門家の参加、人工的な暑熱環境下で医学的管理のもと、系統的な実験を遂行する施設の提供など。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>生体情報を取得するウェアラブルデバイスは各種市販されているが、これらのデバイスで計測される基本的な生体情報のみで深部体温を推定する技術は、これまでなかった。</p>	<p style="text-align: right;">ミツフジ株式会社</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ウェアラブルのミツフジ、新デバイスで暑熱対策への取り組みを開始</p> <p>～マスク着用で高まる暑熱リスクを可視化～</p> </div> <p>ミツフジ株式会社（本社：京都府精華町、代表取締役社長：三寺 歩、以下ミツフジ）は、学校法人産業医科大学（学長：那辻 豊）及び、前田建設工業株式会社（本店：東京都千代田区、代表取締役社長：前田 操治）との共同研究により開発した、心拍情報から深部体温上昇変化を推定できるアルゴリズムを活用し、^{※1} マスク着用などでさらに高まる暑熱リスク対策として、新デバイスを開発しました。</p> <p>昨年共同で暑熱対策の実証実験を行った奈良県生駒市体育協会は、7月以降で、リストバンド型デバイスを活用した見守りプロジェクトの導入が決定しており、これを皮切りに、様々な企業や団体との活用を広がらせていきます。</p> <p>シャツ型デバイスから取得した心拍情報の研究開発で培ってきた知見を、脈波のデータから演算する技術に応用することで、シャツに加えて、バンド型やイヤホン型など、様々なデバイスでミツフジのアルゴリズムを活用することを実現していきます。</p> <div style="text-align: center;"> <p>ウェアラブルデバイス > リストバンド型デバイス > 生体情報取得・情報処理 > 暑熱リスク推定 > 様々なデバイスでの活用</p> </div> <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p> <p>ウェアラブルIoTソリューション_Hamon https://www.mitsufuji.co.jp/service/</p>

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	162 名

窓口	学務部研究支援課
担当者	佐藤 雄平
TEL	011-388-4133
Email	yu-sato@rakuno.ac.jp
産連HP	https://www.rakuno.ac.jp/exc/ig-collaboration.html
シーズDB	https://www.rakuno.ac.jp/archives/seeds

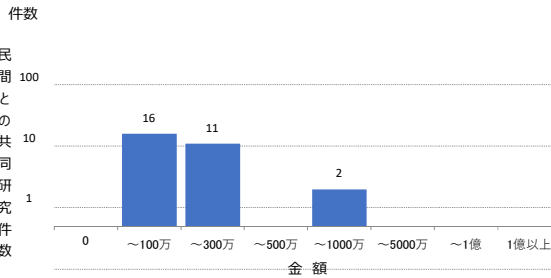
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
70,073 千円	39	65,452	111,280

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有 無	有 無	

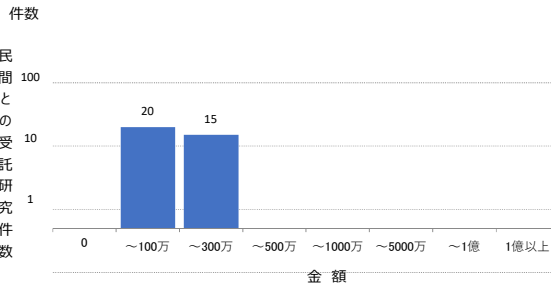
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	46,820	43	48,493	43	位
民間企業のみ	37,707	26	44,346	29	位
大企業	18,198	16	19,182	17	位
中小企業	19,509	10	23,897	10	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	34,858	50	46,923	52	位
民間企業のみ	22,378	35	32,994	35	位
大企業	7,523	10	5,220	7	位
中小企業	14,855	25	23,494	24	30 位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	2 名	81				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

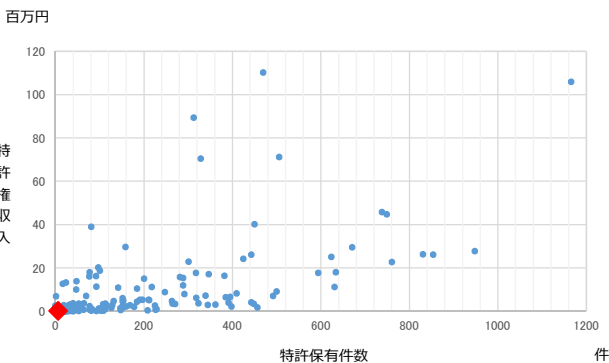
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	2	0.012
特許保有件数	6	0.037

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	2
2	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	2

特許権実施等件数	3	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	196	65.3



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

大学全体の経営理念における産学連携活動の取組方針

基本方針：大学の資源を活用し、地域・日本・世界に貢献する
 ・知・人・情報等のグローバルなネットワークを形成し、世界に開かれた大学を実現する
 ・地域、日本、国際社会及び地球規模の課題を解決し、社会の発展と安定に貢献する
 ・「知の拠点としての大学の役割を果たすとともに、研究成果及び知的財産を社会に広く還元する」
 ・大学における研究成果及び受託研究、共同研究の成果を、特許等の知的財産として確保し、戦略的に活用するための環境作りを推進する。

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

強み：新規材料の合成および材料関連プロセス（2020年度産学連携契約件数63件中、約53% @2020年9月末現在）
 特色ある研究成果：三相乳化技術、酸化分解性ポリマー、高分子重合用新規触媒物質、酸素吸蔵材料、透明太陽電池
 関連する特許：乳化分散剤およびこれを用いた乳化分散方法並びに乳化物(特許3855203号) / エマルション燃料(特許3858230号) / 酸化分解性ポリマー(特許5626751) / 酸素吸蔵材料(特開2018-8871)

産学連携活動において今後重点化したい事項

- 分野横断型研究実施体制の構築
- 研究成果を広く社会に還元するための拠点整備
- B to B産業への三相乳化技術の社会実装推進と技術の継承
- ポスト「三相乳化技術」として、酸化分解性ポリマーのプロモーション推進
- 大学発ベンチャー支援体制の拡充
- 海外企業とのマッチング

運営費交付金	百万円
研究者数	465 名

窓口	研究支援部産学連携推進課
担当者	山口 朝美
TEL	045-481-5661
Email	sakangaku-renkei@kanagawa-u.ac.jp
産連HP	https://www.kanagawa-u.ac.jp/research/cooperation/
シリーズDB	

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	5 名		93		
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	32	0.069
特許保有件数	271	0.583

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	13
2	C08	有機高分子化合物等	11
3	C07	有機化学	10
4	B01	物理的・化学的方法または装置一般	6
5	C01	無機化学	6
6	G06	計算、計数	4
7	H01	基本的電気素子	4
8	G09	教育、暗号方法、表示、広告、シール	2
9	H04	電気通信技術	2
10	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1

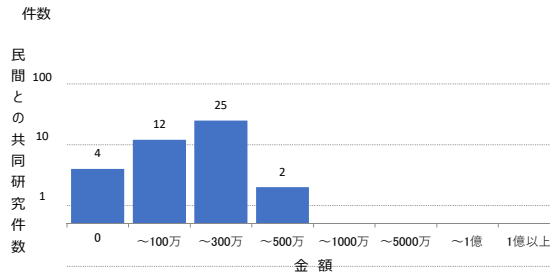
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
277,440	千円	151	60,970

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	有

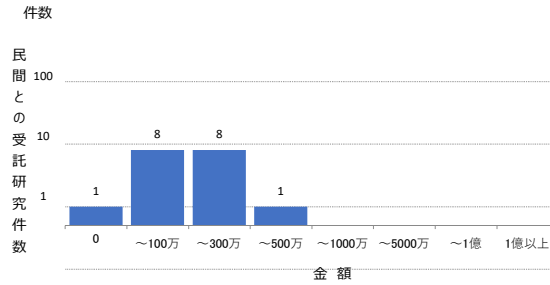
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	
全体	43,450	29	46,758	45	位
民間企業のみ	42,450	27	42,238	43	位
大企業	40,600	24	42,139	42	位
中小企業	1,850	3	99	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公私立で比較したものと

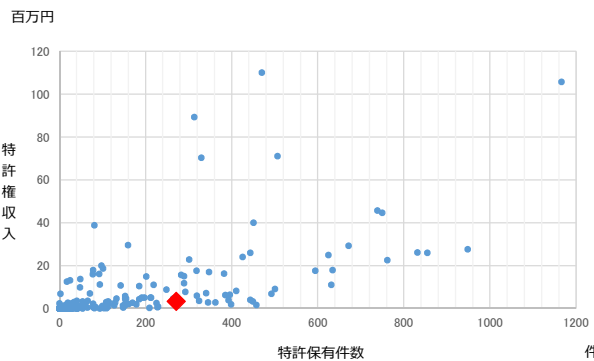


■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	
全体	148,255	33	92,588	31	位
民間企業のみ	23,645	19	19,570	18	位
大企業	20,249	14	15,430	15	位
中小企業	3,396	5	4,140	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公私立で比較したものと



特許権実施等件数	5	実施等件数あたり
特許権実施等収入(千円)	3,247	649.4



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	2名	233

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1社	インキュベーション施設	
相談窓口	有	有	有
支援ファンド	有	有	有
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	有	有	有
有	無	有	無
支援総額（千円）		部屋数	3件
		利用件数	3件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
ファーマラボEXPO2019	2019年6月
イノベーションジャパン2019	2019年8月
国際福祉機器展	2019年9月

組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学連携活動の取組事例

汎用性の高い目玉技術への選択と集中、および多角的な応用拡大 ～三相乳化技術の社会実装に向けた大学発ベンチャー企業との連携～

概要

汎用性の高い目玉技術である「三相乳化技術」に、開発及びマネージメントリソースを集中させ、広範囲の産業、製薬に応用拡大を狙う。並行して将来を担うポスト「三相乳化技術」の発展を推進する。

■職務発明特許特約の構築
特許権利は右記の3階建て構造を基本とし、1階部分の既存の基本特許Aに加え、応用技術の進化に際する2階部分の基本特許Bを大学が継発で出願し、本学の技術ストックの充実を図る。

■社会実装に向けたフロー
・三相乳化技術の社会実装のための研究開発に専任研究者5名が従事している。
・技術移転を効率的に進めるため2007年に大学発ベンチャー「未来環境テクノロジー」立ち上げ。
・応用分野を拡大するため、産学連携推進協議会、新たな産業界との産学連携をプロモートし、技術を進化させる機会を創出し、開発を進めている。
・対等な立場で産学連携を進めるため、産学連携推進協議会に知財専門家を配備すると共に、外部特許事務所と連携契約を締結している。

■活動実績（2020年9月末現在）
・新薬薬に結びついた乳化技術を強み、承認するための特許出願を積み、権利化（2005年）
・基本特許A以外にその後の産学連携により生じた知識が85件に上る。食品、医薬品を中心に産学連携を進め、技術移転実績は44件。既に115件に上る製品化を実現。
・現在は応用分野の水平展開を進めると共に、海外も視野に入れ、医薬・農業・燃料をはじめ、広く他社製品分野への応用拡大を目指し、新たな産学連携による応用技術開発を進めている。

体制図等

大学発ベンチャー企業「未来環境テクノロジー株式会社」
との連携による三相乳化技術の社会実装に向けた取り組み

三相乳化技術の社会実装に向けたフロー

三相乳化技術の知財網イメージ

出願	知財プラットフォーム
企業との共有	3階 豊富応用特許
大学単願	2階 基本特許B (本乳化技術が外らす新構造)
大学単願	1階 基本特許A (基本乳化構造)

産学連携活動の主な実用化事例

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

工学部とライフデザイン学部の文理融合の学部をもち「エンジニアリングデザインのカ」や「ライフデザインのカ」により、地域社会における新しいものづくり、ことづくり、まちづくり、ひとづくり等に貢献できること。

産学官連携活動において今後重点化したい事項

- 3つのコア研究分野における地域企業との共同研究の推進
1. 防災・減災技術研究拠点
 2. 医工学・健康福祉研究拠点
 3. 地域・地場産業振興研究拠点

運営費交付金	百万円
研究者数	116名

窓口	研究支援センター
担当者	佐藤泉
TEL	022-305-3800
Email	rs-center@tohtech.ac.jp
産連HP	http://www.rc-center.tohtech.ac.jp/
シーズDB	https://www.rc-center.tohtech.ac.jp/seeds/

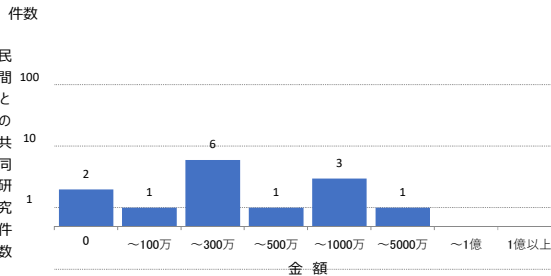
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
28,550	千円	20	71,672

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
15%以上20%未満	有	無	無

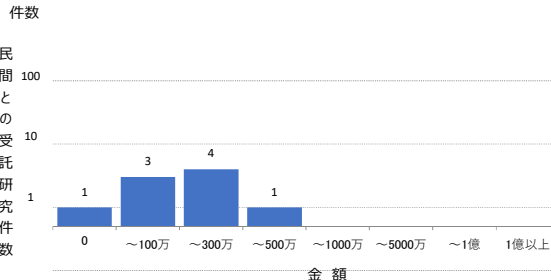
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	31,015	11	45,793	14	位
民間企業のみ	31,015	11	45,793	14	位
大企業	23,592	8	32,375	11	位
中小企業	7,423	3	12,418	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	56,067	21	41,459	26	位
民間企業のみ	1,856	4	11,593	9	位
大企業	1,256	2	9,853	7	位
中小企業	600	2	1,740	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	4名	29			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0件

特許出願・活用実績

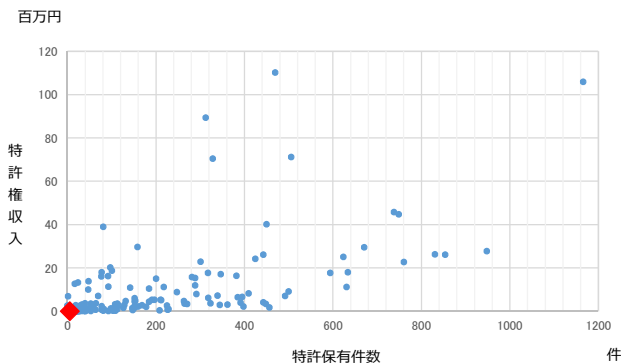
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	6	0.052
特許保有件数	5	0.043

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	1
2	G01	測定、試験	1



その他の体制整備

URA	URA当たり研究者数
実務担当者数	0名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程 (教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程 (教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績 (人)	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0社	インキュベーション施設	
相談窓口		有	無
有	無	有	無
支援ファンド		有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		有	無
有	無	有	無
支援総額 (千円)		有	無
有	無	有	無
利用件数		有	無
有	無	有	無

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
イノベーションジャパン	8月
みやぎ地域連携マッチング・デイ2021	1月

■組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学官連携活動の取組事例

プロジェクト研究所、学内公募研究

概要

【プロジェクト研究所】

- ・学内のシーズを結集して異分野融合によるイノベーションを図っており、地域のニーズを取り入れ産学連携による社会実装を推進している。
- ・現在15のプロジェクト研究所を設置し、連携パートナーを募集している。生体医工学研究所・AIR 研究所・ICTシステム研究所・北欧デザイン研究所 制振工学研究所・東北産業デザイン研究所・生業農デザイン研究所・プレアデザイン研究所・地域のくらし共創デザイン研究所・Well-Being 研究所マーケティングサポート研究所・知能ロボティクス研究所・IoTテクノロジー研究所・ICT教育研究所・東北景観研究所
- ・令和元年9月に、プロジェクト研究所の新規設置を学外に発表するため、「東北工業大学 プロジェクト研究所 キックオフ発表会」を開催した。企業・産業支援機関等多数参加してもらった。
- ・「みやぎ地域連携 マッチング・デイ2020」に2研究所参加しプレゼンテーションを行い、多数の企業と面談を行った。また、研究支援センターが間に入り企業と研究所の実用化を目指した共同研究に発展することができた。

【学内公募研究】

- ・令和元年度より、本学の研究推進と研究のブランド化推進のため、本学教員の提案による研究テーマを公募し、審査委員会にて内容を審査後予算措置し支援している。産学連携枠としては、以下の枠を設けている。
- ・「実用化型」(企業との産学共同研究の準備段階の研究)
- ・「地域連携型」(自治体・地域団体等との地域連携事業の準備段階の研究)

体制図等

大学、地域連携センター、研究支援センター スキーム図

■産学連携活動の主な実用化事例

エコ・ミュージアム 涌谷

本件連絡先

機関名	東北工業大学	部署名	研究支援センター 地域連携センター	TEL	022-305-3800 022-305-3801	E-mail	rs-center@toitech.ac.jp
-----	--------	-----	----------------------	-----	------------------------------	--------	-------------------------

概要

・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

地域の文化財は歴史的学術資料である一方、地域の住民の誇りや地域づくりへ活用できる資源でもある。スマートフォン等が普及をみせる現在、WEBミュージアムは、こうした資源を群としてわかりやすく視覚化する手法として有効である。

・成果

宮城県涌谷町の文化財フィールドワークや古地図研究といった「歴史的景観復元」を行い、その成果をWEBミュージアムとして公開した。「エコ・ミュージアム涌谷」では、代表的な歴史的建造物を復元イラスト・実測図面・古地図などで紹介している。歴史的景観復元を通じ、地域の魅力を再確認、再発信することで、子供から大人まで幅広く、地域の暮らしへの学びを深めることに貢献した。

・実用化まで至ったポイント、要因

WEBミュージアム制作は、地域の豊かな資源の有無が課題となる。宮城県涌谷町は歴史的建造物や城下町絵図等の有効な視覚資料が豊富に伝存し、かつ3D復元イラストなど、歴史研究を視覚化・デザインする建築史学のアプローチが有効だった。

・研究開発のきっかけ

研究フィールドとなった宮城県涌谷町は、優れた歴史的建造物を誇りながら、それらが地理的に分散し、かつ城下町や文化財のまとまりを理解しにくく課題があった。そこで、文化財をネットワーク化するWEBミュージアム制作の有効性に着想した。

・民間企業等から大学等に求められた事項

涌谷町から依頼を受けた景観復元研究として、地域に現存する歴史的建造物の実測図面制作や価値評価をまとめたもとにも、それらのわかりやすいWEB公開の手法についても、効果的な提案が求められた。

・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

文化財の調査研究成果は、学術資料としての報告書という冊子で公表されることが多いが、地域住民の地域づくりへの興味醸成という役割を考慮すると、こうしたスマートフォンで現地でもアクセスできるWEBミュージアムも有効である。

図・写真・データ

エコ・ミュージアム・涌谷のWEBサイトより

・ファンディング、表彰等

・参考URL <https://strolcy.com/users/1696023761/>

その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	1 名	133

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

研究者と企業の連携により、研究の水準を向上させ、人類の福祉に貢献する新技術を創出する。創出された知的財産を企業に移転することで、広く社会に還元する。また、産学連携活動を促進すると同時に、その透明性の向上及び説明責任を確保する。

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

薬学・生命科学分野全般
 ・D D S (Drug Delivery System) 関連技術
 ・ペプチド関連技術
 ・創薬開発プラットフォーム技術

産学官連携活動において今後重点化したい事項

中期計画に基づき、以下の点を重点化していく。
 ・技術移転体制の整備
 ・ベンチャー創出支援
 ・研究内容の情報発信強化

運営費交付金 百万円
 研究者数 名

203

窓口 **教学IR研究推進課**
 担当者 **岩清水 貴嗣**
 TEL **042-676-5349**
 Email **gshinko@toyaku.ac.jp**
 産連HP
 シーズDB

外部資金

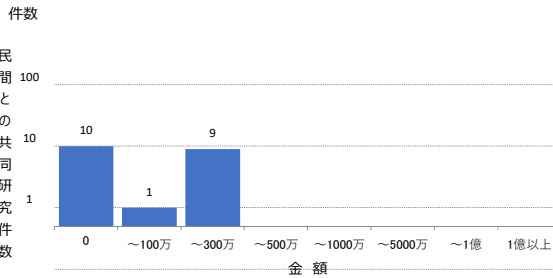
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
189,604	千円	88	42,997

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	44,583	19	40,717	25	位
民間企業のみ	34,182	15	18,362	20	位
大企業	33,182	13	15,862	17	位
中小企業	1,000	2	2,500	3	位

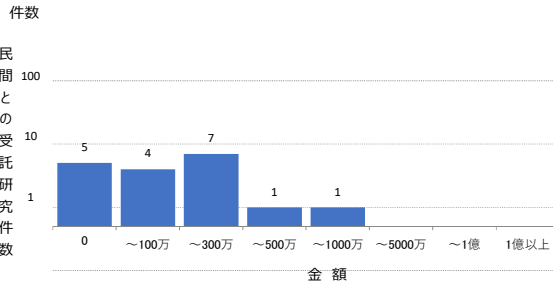
※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	154,070	33	128,206	37	位
民間企業のみ	33,320	15	24,635	18	位
大企業	19,570	9	11,470	10	位
中小企業	13,750	6	13,165	8	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	3名	68				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

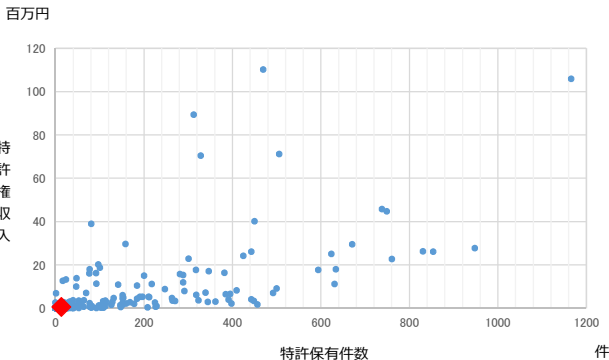
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	27	0.133
特許保有件数	13	0.064

特許権実施等件数	6	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	545	90.8

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C07	有機化学	8
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	5
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	4
4	C08	有機高分子化合物等	1
5	C23	金属質材料への被覆; 金属質材料による材料への被覆; 化学的 surface 処理; 金属質材料の拡散処理; 真空蒸	1



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	1名	203

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クローズドポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0社	インキュベーション施設	
相談窓口		有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
相談窓口	支援ファンド	部屋数	件
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	利用件数	件
有	無	有	無

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
BioJapan	10月
ファーマラボEXPO	6月

■組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学連携活動の取組事例

産学官共同研究推進センターにおける産学連携促進及び研究サポート

概要

東京薬科大学産学官共同研究推進センターは、本学における教育・研究の成果を、社会に還元することを目的として、平成26年に設立された。これまで、製薬企業をはじめとして、多くの民間企業・アカデミアとの共同研究・受託研究を実施してきた。また、秘密保持契約のもとに、企業からの技術相談を受けるとともに、多くの研究成果有体物を企業に提供した実績がある。これらの活動は、産学連携ポリシーと中期計画を基に、産学官共同研究推進センターを中心に展開されており、ワンストップでの産学連携・研究サポート体制が実現されている。

体制図等

■産学連携活動の主な実用化事例

蛍光プローブ「GSTP1 Green」販売開始

本件連絡先							
機関名	東京薬科大学	部署名	産学官共同研究推進センター	TEL	042-676-5349	E-mail	gshinko@tovaku.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>GSTP1は解毒作用を有するGlutathione S-Transferase (GST) ファミリーのメンバーで、がん細胞で発現が亢進し、抗がん剤などの薬剤耐性の主たる原因因子として注目されている。そのためGSTP1特異的な酵素活性測定方法が期待されていた。</p> <p>・成果</p> <p>従来の方法ではin vitroにおける活性測定に限定されており、生細胞で活性を観察できる手法は不十分だったが、本試薬は生細胞レベルでGSTP1特異的に活性測定が可能。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>特異性、選択制、有用性において、企業側のニーズにマッチしていた。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>本学教員が、元々その酵素に興味を持っており細胞内での動態(常に活性がONなのか、刺激に応じてONになるのか)をみてみたかったことがきっかけとなった。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>化合物の安定性。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>多数あるGSTファミリーのうちGSTP1に特異的な活性測定試薬はない。生細胞で使用できることから、各種細胞のGSTP1活性の定量化や刺激依存性なGSTP1活性のモニタリングに加え、従来難しかった細胞ベースでの阻害剤探索などさまざまなアプリケーションに応用可能。</p>				<p>GSTP1 Greenは色素骨格に付加されたアセチル基の効果により高い細胞膜透過性を示す。細胞内に取り込まれた後、細胞内のエステラーゼにより脱アセチル化され活性体に変換される。この活性体がGSTP1がGSHを付加しグルタチオン抱合体を形成すると、プローブの分子内の消光機構が解消され、緑色蛍光を発する。</p> <p>※ GSTP1 Greenは生細胞専用でデザインされており、in vitroアッセイには使用できません。</p> <p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p>			

その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	3名	160

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	1	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学ベンチャー数	0社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件
有	無		

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
JSTイノベーションジャパン出展	8月～9月
産学連携シーズ発表会	3月頃

■組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学官連携活動の取組事例	
実用化されていない既得特許の洗い出し及びその活用	
概要	体制図等
<p>本学産学官連携活動におけるゴールは、本学研究活動の社会実装すなわち実用化であり、このための支援の再考と再編を加え、特許取得後に実用化に至っていない事業に対する積極的介入を開始した。</p> <p>例)実用化されていない既得特許の洗い出し</p> <p>何が問題なのか？ ※出口戦略を重視（産学官連携推進会議で検討）</p> <p>発明者ヒアリングにて意向・現状把握 （特許断念、継続、発明者独自で実施、専門家の支援が必要等）</p> <p>企業リエゾン担当URA、知財URA、産学官連携コーディネーターによるフィールドワーク、各種フェアの活用（大阪商工会議所、JST等）</p> <p>候補企業と発明者、URAによる面談、具体的アクションプランの策定 ※具体的医療機器のイメージとクラス分類、規制に応じた連携企業の確保、技術確立（製品規格）、ニーズとマーケット評価、他の障壁の考慮等</p> <p>本学産学官連携活動におけるゴール ※実用化は特許の取得、所得後の活用を軸に進めることが肝要</p>	<p>産学官連携推進室</p> <p>STAGE 3：事業化プロジェクト組成 【産学官連携のもと、医大を中心としたプロジェクトを推進する】 ・競争的資金獲得（AMED、METI、JSTその他） ・共同研究、受託研究、ライセンス先探索支援 ・スタートアップ創出支援</p> <p>STAGE 2-b：知財権利化 【シーズの特徴を明確にし、社会をリードする立場に立つ】 ・発明指図 ・特許性調査、権利化支援 ・ライセンス先探索</p> <p>STAGE 2-a：市場調査・情報発掘 【シーズを育み、医大から社会に適合する芽を発掘する】 ・市場・事業性調査 ・企業マッチング ・情報発信、シーズ集登録</p> <p>STAGE 1：研究促進 【研究基盤を醸成し、医大から世界を変えるシーズを生み出す】 ・科研費申請支援、その他競争的資金獲得支援 ・学内グラント</p>

■産学連携活動の主な実用化事例

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	88 名

窓口	事務部基盤整備課
担当者	廣川 泰士
TEL	0250-25-5396
Email	liaison@nupals.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

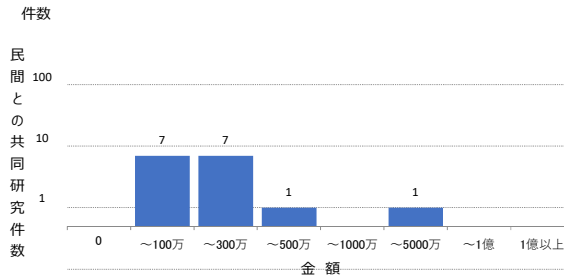
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
29,336	千円	22	44,243
			53,430

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%未満	有	無	有
			無

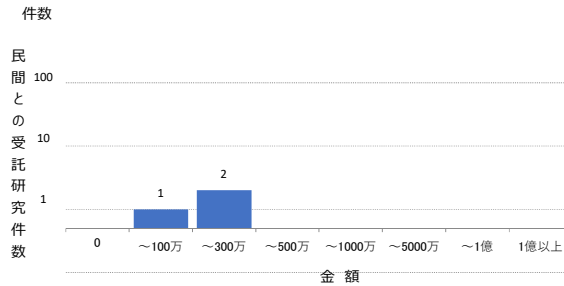
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	59,944	13	36,031	16	位
民間企業のみ	35,944	12	36,031	16	位
大企業	3,972	5	4,965	7	位
中小企業	31,972	7	31,066	9	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	108,147	20	55,929	15	位
民間企業のみ	6,033	8	3,976	3	位
大企業	3,360	4	1,050	1	位
中小企業	2,673	4	2,926	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	1 名	88				
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

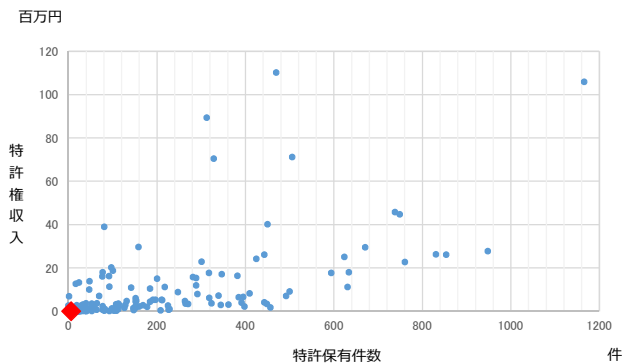
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	2	0.023
特許保有件数	6	0.068

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数

特許権実施等件数	3	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	50	16.7



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設			
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	747 名

窓口	総務部産学連携事務室
担当者	佐合 範彦
TEL	0561-61-5283
Email	kenshi@aichi-med-u.ac.jp
産連HP	
シーズDB	

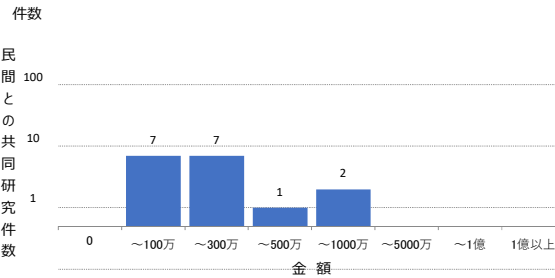
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
198,020	千円	126	21,270 / 529,147

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有
20%以上25%未満	有 / 無	有 / 無

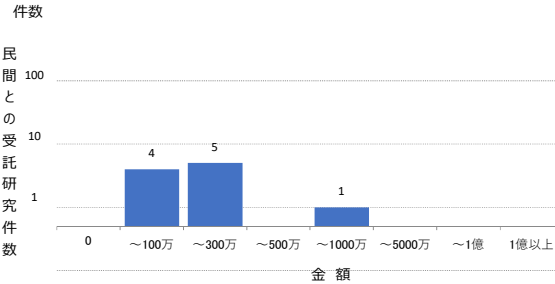
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	25,252	11	34,235	18	位
民間企業のみ	25,252	11	29,310	17	位
大企業	14,026	4	15,690	10	位
中小企業	11,226	7	11,200	6	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	137,751	55	131,062	51	位
民間企業のみ	7,468	9	15,220	10	位
大企業	4,610	6	12,035	7	位
中小企業	2,858	3	1,700	2	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	0 名					
専門家の配置	弁護士 / 弁理士 / 税理士 / 公認会計士 / その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

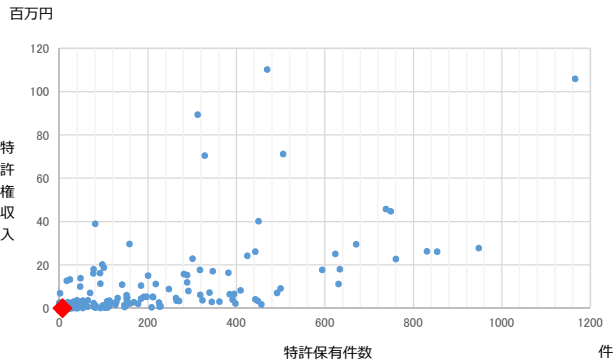
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	6	0.008
特許保有件数	7	0.009

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学；衛生学	7
2	G01	測定、試験	2
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	1

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社		インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

理工学系分野全般、農学系分野全般、人文・社会科学系分野全般

産学官連携活動において今後重点化したい事項

理工学系分野全般、農学系分野全般

運営費交付金	百万円
研究者数	646 名

窓口	REC事務部(滋賀)
担当者	数田 晴彦
TEL	077-544-7291
Email	rec@ad.ryukoku.ac.jp
産連HP	http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/iag/
シーズDB	https://www.ryukoku.ac.jp/who/

外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
247,497	千円	138	277,842

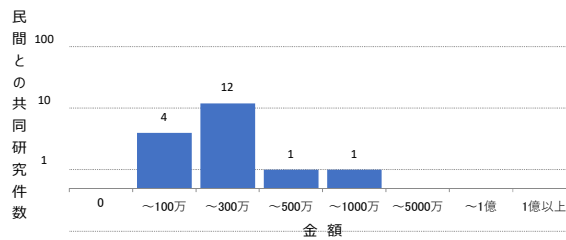
間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	有
			無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	19,422	14	33,147	19	位
民間企業のみ	16,562	12	32,454	18	位
大企業	11,822	10	24,564	13	位
中小企業	4,740	2	5,730	4	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数

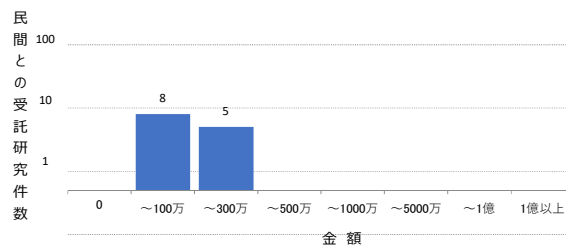


■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	123,732	30	107,144	25	位
民間企業のみ	7,802	12	9,460	13	位
大企業	2,100	5	3,140	5	位
中小企業	5,702	7	6,320	8	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	13 名	50			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

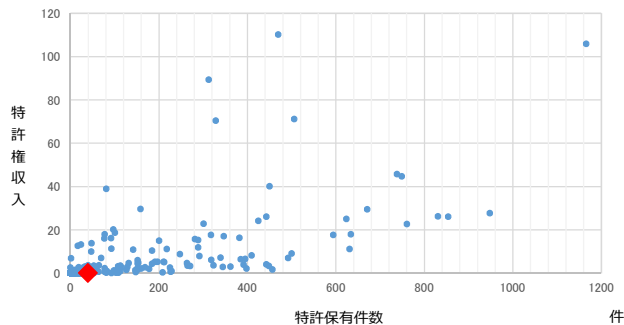
		研究者あたり
特許出願件数	10	0.015
特許保有件数	39	0.060

特許権実施等件数	5	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	184	36.8

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C02	水、廃水、下水・汚泥の処理	4
2	C07	有機化学	4
3	G01	測定、試験	4
4	H01	基本的電気素子	4
5	B62	鉄道以外の路面車両	3
6	G06	計算、計数	3
7	A61	医学・獣医学；衛生学	2
8	B25	手工具、可搬型動力工具、マニプレータ等	2
9	C09	染料、ペイント、つや出し、天然樹脂、接着剤等	2
10	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1

百万円



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	46	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	23 件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	13 件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
イノベーションジャパン	8月
NEW環境展	5月
アグリビジネス創出フェア	11月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

学部・学科横断的に融合するテーマ（例：ナノテクノロジー、医工連携、エネルギーデバイス、ロボット工学、環境）で新たな研究の創出・育成を促進し、次世代研究リーダーの発掘と育成を図る。/人工知能を活用した内視鏡手術/廃棄物から次世代エネルギーへ/地域災害情報ネットワーク

産学官連携活動において今後重点化したい事項

工業系大学の使命である産学連携のリージョナルセンターとして、大学の研究成果の社会還元及び大学が保有する知的財産の事業化・実用化を通じて、地域社会の課題解決と地域産業の活性化に貢献する。

運営費交付金	百万円
研究者数	156 名

窓口	総合研究機構 産学連携推進室
担当者	産学連携プロデューサー 佐々木 賢
TEL	092-606-3236
Email	sangaku@fit.ac.jp
産連HP	https://www.fit.ac.jp/kenkyu/sangaku_renkei/index
シーズDB	https://cro.fit.ac.jp/sangaku/seeds.html

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数					
実務担当者数	2 名		78			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	23 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	17 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

		研究者あたり
特許出願件数	7	0.045
特許保有件数	53	0.340

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数
1	H04	電気通信技術	3
2	B21	機械的金属材料加工、金属の打抜き等	2
3	B23	工作機械等	2
4	C01	無機化学	2
5	C22	冶金、鉄・非鉄合金等	1
6	E02	水工、基礎、土砂の移送	1
7	G01	測定、試験	1
8	G11	情報記憶	1

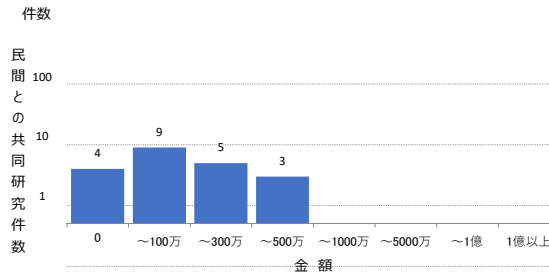
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
81,205 千円	61	114,543	38,213

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有 無	有	無

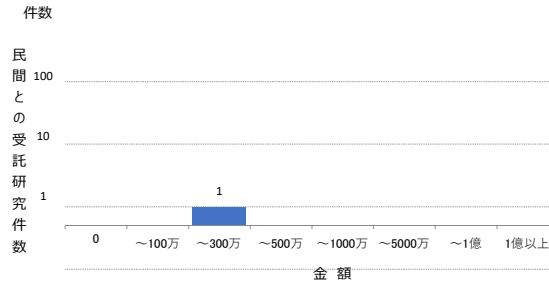
共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	27,017	17	27,433	30	位
民間企業のみ	26,817	16	21,013	21	位
大企業	8,800	4	4,700	7	位
中小企業	18,017	12	5,914	10	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



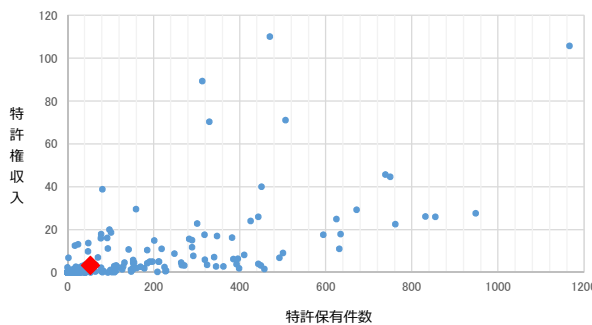
受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	45,650	12	128,190	15	位
民間企業のみ	1,000	1	1,000	1	位
大企業	0	0	1,000	1	位
中小企業	1,000	1	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



特許権実施等件数	11	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	3,350	304.5

百万円



その他の体制整備

URA	URA当たり研究者数	
実務担当者数	2名	78

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	1	0
派遣	0	0	0	0

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
福岡工業大学研究成果報告会	2021年3月

組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学官連携活動の取組事例

最先端医療 × 情報工学 AI活用で医療イノベーション

概要

■ 本取組の背景
医学分野で最先端の研究に取り組む本学と内視鏡外科医療の実績で世界をリードする大分大学は、それぞれが得意とする最先端の医療と情報工学の知見を融合させ、AI(人工知能)を活用した未来の医療イノベーションを推進している。

■ 取組内容
本学と大分大学で取り組む「AI活用次世代内視鏡手術機器」は内視鏡手術をAIが支援するシステム。内視鏡手術は傷口が小さく、術後の患者の回復も早い。ため様々な病気の治療のための普及が進んでいる。一方、手術には高度な技術と知識が必要とされ、良好な視野が得られない場合等に医師の誤認による医療ミスが発生している。本研究のシステムは内視鏡手術において患者の体内の状態をAIが認識し、医師にモニター上で適切な手術部位のランドマーク表示を行い、効率的かつミスのない手術を実現する。

■ コンソーシアムの形成
2019年度からオリンパス社が代表機関となって開発が本格化。右図5者の連携により未来の内視鏡手術システムの実用化と製品化を目指している。

A- 情報支援内視鏡外科手術プラットフォーム、判断支援
オリンパス社、国立がんセンター東病院、大分大学、本学
B- 自立制御内視鏡システム、視野操作支援
オリンパス社、国立がんセンター東病院
C- 自動制御加置具システム、加置具操作支援
オリンパス社、東京大学

■ プレスリリース
<https://www.fit.ac.jp/newsrelease/archives/158>

体制図等

【図】コンソーシアム研究体制図

産学連携活動の主な実用化事例

「焼酎かす」を次世代の高性能電池に ～ベンチャー企業と地域活性化チャレンジ～

本件連絡先

機関名	福岡工業大学	部署名	総合研究機構	TEL	092-606-3236	E-mail	sangaku@fit.ac.jp
-----	--------	-----	--------	-----	--------------	--------	--

概要

・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

鹿児島県、宮崎県を中心とした九州特産の焼酎を作る際に出る焼酎かす(搾りかす)は、製造工程で大量に発生し、その廃棄コストでメーカーを悩ませてきた。

・成果

焼酎かすから作る電極を用いた「金属空気燃料電池」と「電気二重層キャパシタ」は、高エネルギーを安定して供給できる電源デバイスの実現を可能にする。

・実用化まで至ったポイント、要因

焼酎かすは発酵の過程で微生物によって表面に無数の小さな穴が開いている。そこに目を付けた本学研究者が、その穴を多数開けて活性化させる「賦活(ふかつ)」という工程を経て活性炭に加工すると、多数のイオンを吸着できる優良な電極の材料として再生することができた。

・研究開発のきっかけ

本学研究者は、農業現場で出る廃棄物の再利用について研究を始め、特に焼酎造りが盛んな九州では、産業廃棄物である搾りかすの処分が各地で大きな課題となっており、その活用方法を研究していた。

・民間企業等から大学等に求められた事項

2019年4月に鹿児島県の企業や東京に本社を置く工作機械メーカーなどから出資を受けて、地域活性化を目指すベンチャー企業が鹿児島県に設立。本学が出願し、後に特許となる「活性炭作成方法」(特許6754161号)の特許を受ける権利を譲渡。

・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

・上記特許でもある活性炭内部の細孔分布について細かく制御可能とした活性炭作製方法
・リチウムイオン電池に代わる次世代の電池を作れることを可能にし、自動車から精密機械まですべての電気製品の性能を飛躍的に上げることができる。

図・写真・データ

焼酎の搾りかす

地元の高造会社ではこれまでゴミとして処分されてきた。

焼酎かす活性炭

本技術で加工すれば、多孔質の優良な電極として利用可能。

金属空気燃料電池

本活性炭を+電極に使用。高エネルギー密度と長寿命を実現。

電気二重層キャパシタ

蓄電と放電が可能であり、金属空気燃料電池と組み合わせて、高電力を安定供給。

・ファンディング、表彰等

・参考URL

・『第12回(2019年度)電気設備学会九州支部賞』において「優秀業績賞」受賞
・ニュースリリース(マスコミの方へ)「焼酎かす」電池からベンチャー企業発足!
<https://www.fit.ac.jp/newsrelease/archives/161>

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

大学の知財である専門知識や技術（研究シーズ）を企業や行政のニーズに役立て、産学官が連携して地域に貢献することを目的とし、広島工業大学地域連携技術研究協力会（HITSクエア）を設立した。そのHITSクエアに、電気・電子、機械、建築、情報システム、環境・土木、食品・生体の6つの産業技術研究部会を設置し活動している。

産学官連携活動において今後重点化したい事項

- ・広島工業大学地域連携技術研究協力会（HITSクエア）の運営による産学官交流の推進
- ・地域連携協定の積極的展開
- ・初中等教育における理工学教育への支援
- ・AI、データサイエンス分野や地域防災分野等の研究プロジェクトの推進

運営費交付金	百万円
研究者数	164名

窓口	地域連携推進室
担当者	佐藤 隆
TEL	082-921-4222
Email	kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp
産連HP	https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/
シーズDB	https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/seeds/

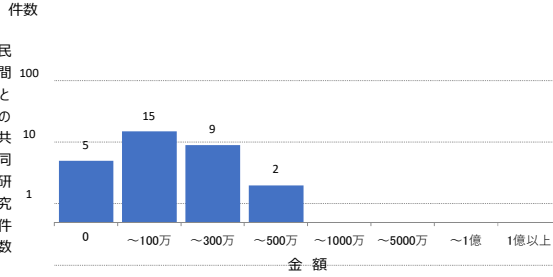
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
37,787	千円	5,150	56,806

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	無

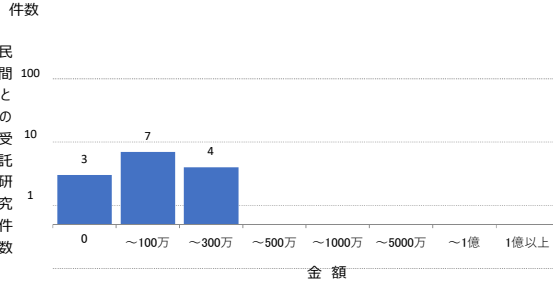
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	100,848	39	26,376	33	位
民間企業のみ	96,923	35	24,876	31	位
大企業	75,868	16	16,563	19	位
中小企業	21,055	19	8,313	12	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	56,803	19	12,672	19	位
民間企業のみ	7,720	10	7,522	14	位
大企業	4,880	6	5,580	8	位
中小企業	2,840	4	1,942	6	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	9名	18				
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願・活用実績

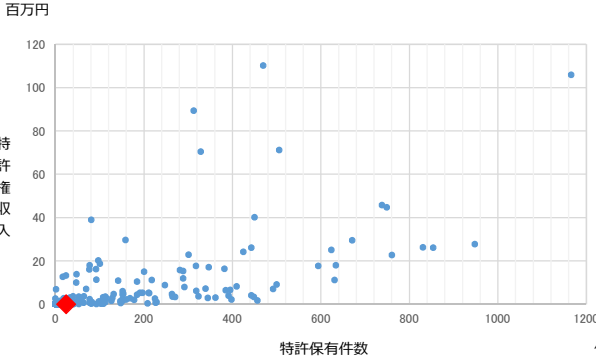
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	2	0.012
特許保有件数	24	0.146

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野（2019年公開）

順位	IPC	分野	件数



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入				
派遣				

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	0 件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	0 件
有	無	0			

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
広島工業大学地域連携技術研究協会（HITSクエア）講演会	6月
宮島土曜講座	6月～12月
広島工業大学地域連携技術研究協会（HITSクエア）産業技術研究部会	2月～3月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	172 名

窓口	大学事務局 研究支援室
担当者	荻野 純哉
TEL	072-820-3827
Email	ken-shien@osakac.ac.jp
産連HP	https://www.osakac.ac.jp/cooperation/industrial-government/about/
シーズDB	https://www.osakac.ac.jp/cooperation/industrial-government/seeds-list/

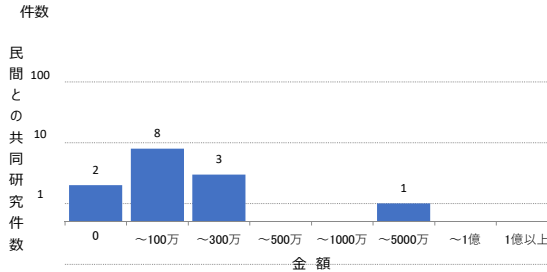
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
76,900 千円	47	30,250	44,568

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

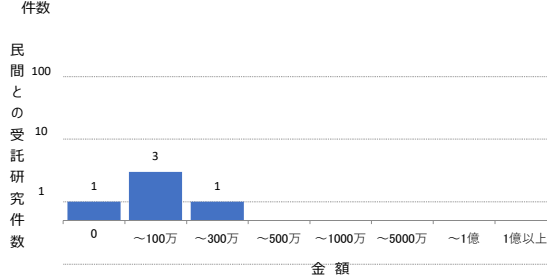
■ 共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	9,425	15	26,245	15	位
民間企業のみ	5,425	12	23,845	14	位
大企業	4,000	7	21,200	8	位
中小企業	1,425	5	2,645	6	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



■ 受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	13,951	17	33,373	11	位
民間企業のみ	4,008	11	3,523	5	位
大企業	3,208	4	2,810	2	位
中小企業	800	7	713	3	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	6 名				
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
					29

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

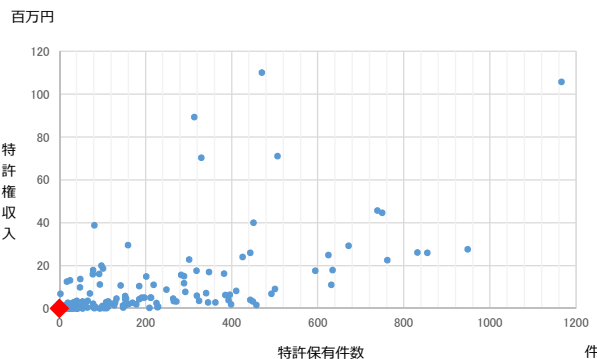
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	1	0.006
特許保有件数	0	0.000

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	1

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	1 名	172

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	1 社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）	インキュベーション施設
有	無		
		部屋数	件
		利用件数	件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
クイアリティ・コア東大阪 合同シーズ発表会	7月頃

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

自然科学分野の基礎研究に特化した大学
AI、太陽電池、新規素材、老化研究など

産学官連携活動において今後重点化したい事項

OISTの国際性を生かした国際的な産学連携
沖縄でのOISTを中心としたイノベーションエコシステムの創出

運営費交付金	百万円
研究者数	336 名

窓口	技術移転セクション
担当者	クーパー 由希子
TEL	098-982-3627
Email	bdtl@oist.jp
産連HP	https://groups.oist.jp/ja/tdic
シーズDB	

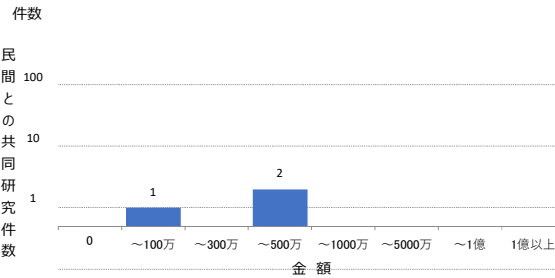
外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
270,013	千円	122	58,537

間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
30%以上	有 無	有 無	

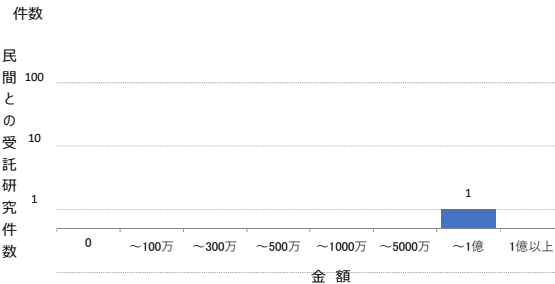
■共同研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	37,514	10	25,637	5	位
民間企業のみ	21,914	9	7,537	3	位
大企業	14,504	7	3,325	2	位
中小企業	7,410	2	4,212	1	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



■受託研究	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	294,081	19	390,312	21	位
民間企業のみ	0	0	51,000	1	位
大企業	0	0	51,000	1	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	12 名	28			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

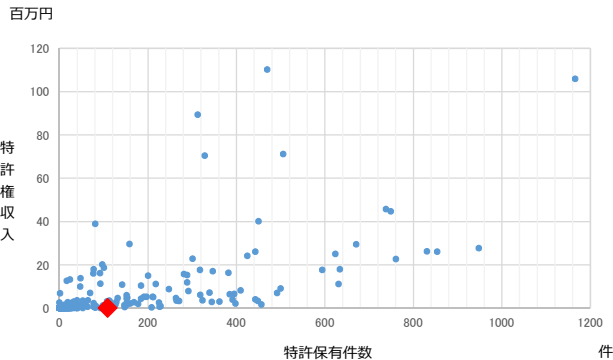
職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

	研究者あたり	
特許出願件数	39	0.116
特許保有件数	109	0.324

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C07	有機化学	5
2	G01	測定、試験	5
3	G06	計算、計数	5
4	H01	基本的電気素子	5
5	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	4
6	C23	金属材料への被覆; 金属材料による材料への被覆 等	3
7	B32	積層体	2
8	H02	電力の発電、変換、配電	2
9	A61	医学・獣医学; 衛生学	1
10	B01	物理的・化学的方法または装置一般	1

特許権実施等件数	19	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	121	6.4



その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	16 名	21

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスポイントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	3 社	インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド	
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）	
有	無	部屋数	40 件
		利用件数	26 件

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
JST新技術説明会	6月
Bio Japan展示会	10月
Nanotech展示会	1月

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金	百万円
研究者数	574 名

窓口	産学連携知的財産管理室
担当者	本地 直貴、青江 智子、日下 彩生
TEL	086-462-1111 (内線26030、26049)
Email	s-renkei@med.kawasaki-m.ac.jp
産連HP	https://m.kawasaki-m.ac.jp/sanchi/
シーズDB	https://m.kawasaki-m.ac.jp/sanchi/seeds.php

外部資金

科研費		其他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
188,490 千円	101	434,294	294,929

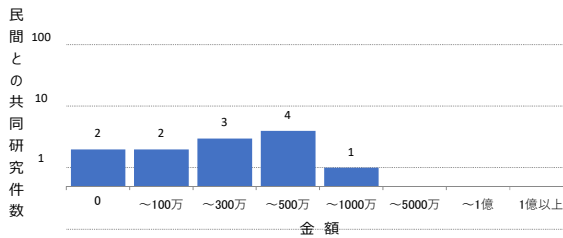
間接経費割合	株式の保有	新株予約権の保有	
10%以上15%未満	有	無	有
			無

■共同研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	17,419	16	25,273	13	位
民間企業のみ	13,099	13	25,192	12	位
大企業	9,799	10	25,192	12	位
中小企業	3,300	3	0	0	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数

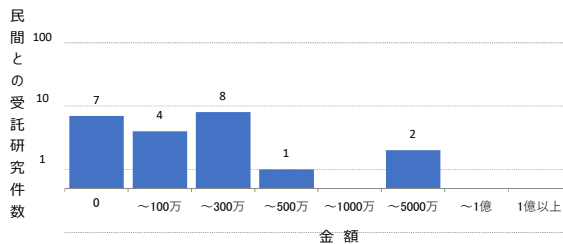


■受託研究

	2018年度		2019年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	42,234	63	40,667	29	位
民間企業のみ	29,545	31	39,716	22	位
大企業	27,642	22	35,479	17	位
中小企業	1,903	9	4,237	5	位

※順位は2019年度の受入額を国公立で比較したものと

件数



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署	実務者当たり研究者数				
実務担当者数	4 名	144			
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0 件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者	未設定
---------	----	-----	-----

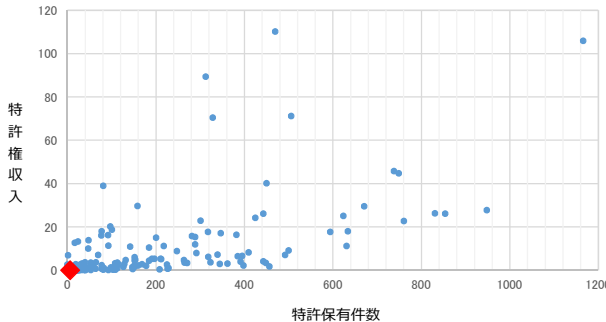
		研究者あたり
特許出願件数	12	0.021
特許保有件数	6	0.010

特許権実施等件数	2	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	34	17.0

出願数上位技術分野 (2019年公開)

順位	IPC	分野	件数

百万円



その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

クロスアポイントメントの実績（人）	大学等	公的機関	民間企業	その他機関
受入	0	0	0	0
派遣	0	0	0	0

■組織的産学連携活動の取組事例

■産学連携活動の主な実用化事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期
KMSメディカル・アーク (川崎医科大学主催)	2021.2
Bio Japan	2020.10
DSANJ	2020.9 2021.1